

# 在外公館文化事業

【令和3年度政府予算案額:203百万円の内数】

在外公館が管轄地域における対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として主催(共催)する日本文化紹介事業。日本伝統文化(茶道、華道、書道、折り紙等)のレクチャー・デモンストレーションやワークショップ、日本映画上映会、邦楽公演(和太鼓、三味線等)、武道のレクデモ、日本語弁論大会等を企画・実施。近年は、アニメ・マンガ等のポップカルチャー紹介や和食のPR等も積極的に奨励。



平原綾香氏によるコンサート



提灯作りワークショップ



成年男子の部

## ミャンマー「ジャパン・ミャンマー・プエドー 2020における日本文化紹介」 (令和2年2月)

- ヤンゴンにおいて、平原綾香氏によるコンサート、各種日本文化体験、日本企業によるブース出展等を実施。ヤンゴン地域政府首相等、約13,000人が参加。
- アウン・サン・スー・チー国家最高顧問のビデオメッセージが上映された他、ステージ公演の様相を現地テレビ局が生中継。
- 本イベントをオールジャパンで盛り上げることにより、ミャンマーにおける日本文化最大のプラットフォームとして定着。

## 仏「第8回秋祭り」 (令和元年10月)

- 日本庭園が所在するマルセイユ市内の公園において、各種デモンストレーション(茶道、華道、着物、武道等)、ワークショップ(折り紙、提灯作り、書道、将棋等)を実施。約13,300人が参加。
- 現地メディアで多数報じられた他、SNS関連サイトの閲覧数は約51,000件、「いいね」は約1,000件を記録。
- 共催者であるマルセイユ市から多大な協力が得られ、関係を大きく強化。

## コスタリカ「第5回日本大使杯 コスタリカ柔道大会」 (令和2年3月)

- コスタリカ柔道連盟及びオリンピック委員会との共催により、国内最大規模の柔道大会を開催。コスタリカスポーツ大臣、オリンピック委員会会長、柔道連盟会長等、約1,200人が参加。
- 本大会を契機に、24の小中学校において柔道が正規教育に導入された他、本大会からオリンピック出場者を輩出する等、コスタリカにおける柔道の普及・技術向上に貢献。

# 国際交流基金事業(運営費交付金)

【令和3年度政府予算案額:12,633百万円の内数】

## 組織概要・目的

国際文化交流を担う専門機関として、外交政策を踏まえつつ、海外における文化芸術交流、日本語教育、日本研究・知的交流に資する事業を実施し、対日理解を促進しつつ、国際社会における我が国の地位を向上させることを目指す。



ロシアにおける日本年  
DRUM TAO公演



コスタリカにおける日本語能力試験実施後の関係者



日中知的交流強化事業

## 事業分野

### □ 文化芸術交流

舞台公演・美術展・日本映画上映会等の実施又は支援、人物交流、情報発信等

豊かで多様な日本の文化や芸術を様々な形で世界各地に向けて発信。文化芸術を通じて日本のこころを世界の人々に伝え、言葉を超えた共感の場を創り出し、また、共に創造する喜びを分かち合って、人と人との交流を深める。

### □ 海外における日本語教育

日本語専門家の海外派遣、日本語教育機関等への助成、海外の日本語教師育成、日本語能力試験の実施、日本語教材の開発・制作等

より多くの人々に日本語を学ぶ機会が与えられるように、そして、日本語学習を長く継続できるように、日本語を学びやすく、教えやすいものとするため、日本語教育の基盤や環境の整備を行う。また、各国・地域の政府や自治体、教育機関等と連携して、それぞれの教育環境、教育政策、学習者の目的や関心に十分に対応した事業を実施(アニメ・マンガや日本文化等を題材にしたe-ラーニングにも対応)。

### □ 日本研究・知的交流

海外日本研究者へのフェローシップ供与、高等教育・研究機関への助成、日本研究情報提供、人材育成支援

海外での日本研究を支援し、その振興を図ることで、世界の各国で人々により日本が深く理解されることを目指す。また、国際的な重要課題、共通の関心事項について、日本と海外の人々の間で対話する機会を作ることで、日本の対外発信を強化すると共に、将来の対話や交流事業の中心的な役割を担う人材を育てるための事業を推進。

# 日本国際漫画賞

【令和3年度政府予算案額：9百万円】



## 沿革

「今や世界各国に現れつつある若き漫画の旗手たちに、漫画の本家本元である日本から、権威のある賞、いわば漫画のノーベル賞のようなものをあげたい。」との思いから、2007年、麻生太郎外務大臣(当時)が創設。

## 概要

- 海外の漫画家の応募作品の中から、最優秀賞1作品、優秀賞3作品を表彰。
- 受賞者を10日間程度招聘し、日本の漫画家との懇談や関連団体訪問の機会を提供。



## 期待する効果

- 世界の漫画家に対し、日本との絆を意識してもらい、漫画文化の担い手層の日本への好感度を維持する。



招聘事業

写真提供：(独)国際交流基金

- 日本文化の一翼を担う漫画を、海外で更に受け入れられやすくする。



第13回日本国際漫画賞授賞式

## 【参考】第1回から第14回までの応募作品の国・地域及び作品数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
国・地域数	26	46	55	39	30	38	53	46	46	55	60	68	66	61
作品数	146	368	303	189	145	245	256	316	259	296	326	331	345	383

# 国際交流基金事業(放送コンテンツ海外展開支援事業)

【令和3年度政府予算案:措置なし】

## 事業概要

- ◆ 日本のコンテンツが放送されにくい国・地域を中心に、日本のドキュメンタリー、ドラマ、映画、アニメ、バラエティ等の無償提供を集中的に行い、海外の一般市民に向けて、地方を含む日本の魅力を発信することにより、対日理解促進や親日感醸成のほか、日本企業の進出に向けた基盤作り、インバウンド観光の促進を目指す。

## 対象国・地域

**ロシア・中央アジア**  
ロシア、ウズベキスタン、  
カザフスタン等

**東欧**  
ブルガリア、ハンガリー、  
チェコ、セルビア等

**中東・アフリカ**  
エジプト、イラン、  
ナイジェリア、ガーナ等

**アジア**  
モンゴル、カンボジア、  
インド、スリランカ等

**大洋州**  
フィジー、マーシャル、  
パプアニューギニア等

**中米**  
メキシコ、キューバ、  
ジャマイカ、パナマ等

**南米**  
ブラジル、アルゼンチン、  
チリ、ペルー等

対日理解促進  
親日感情醸成

現地進出日本  
企業への裨益

将来的な商業的  
海外展開への  
地盤形成